

## 電気学会研究会原稿の書き方 (付録2 参照)

### 1. まえがき

発表論文は、提出された PDF 原稿を基に版下を作成し、電子データおよびオンデマンド印刷にて電子図書館で販売されます。原稿の書き方が不適當であると版下作成の支障となりますので、執筆の際は、この書き方をよくお読みになったうえで、原稿をお書きください。

研究会原稿の書き方は、「電気学会論文誌寄稿の手引き」に準拠しておりますが、主な相違点は以下のとおりです。

- ・原稿用紙上余白が 40mm である (部門誌は 25mm)。
- ・著者に会員・非会員の区別を記載しない (部門誌は記載必須)。
- ・発表者に\*を付する (部門誌は不要)。
- ・所属を著者の後に ( ) 書きで記載する (部門誌は左下に記載)。
- ・著者紹介は不要 (部門誌は末尾に記載)。

### 2. 原稿用紙および資料の装丁

専用の原稿用紙はありませんので、任意の A4 用紙 (縦 29.7cm×横 21.0cm) で作成してください。1 ページの文字数は、26 字×50 行×2 段 (2,600 字) です。論文は、開催単位で合本 (1~複数冊) し、研究会資料として発行されます。また、電子図書館にて 1 論文単位でも販売します。

### 3. 分量

図面・写真・表も含んで原則として 6 ページ以内としてください。なお、やむを得ず 6 ページを超える場合は、原稿提出のときに「超過頁製版注文書」(付録 4)にてお申し込みください。6 ページを超過する分について 1 ページにつき 5,000 円 (税別) をお支払いください。

### 4. 配置

題目等は「研究会論文の作成見本」(付録 2)に従って次の①~⑥の順序で記載し、本文を書き始めてください。

- ①題目：原稿用紙第 1 行中央に書く (長ければ 2 行でも可)。
- ②著者名および所属：題目の下を 1 行あけて、次の行から中央に書く。  
発表者の区別：著者が 2 人以上の場合は、見本配置例のように発表者名の右肩に\*印を付ける。
- ③英文による題目、氏名 (所属)：著者名および所属の下を 1 行あけて、次の行から中央に書く。
- ④英文概要 (アブストラクト 研究会システム日本語版使用の場合：50 Words 程度、英語版使用の場合：100 words 程度)：英文による題目、氏名 (所属) の下を 1 行あけて次の行から書く。半角 4 文字あけて書き始める。
- ⑤キーワード：英文概要の下を 1 行あけて左側から日本語で書く。次の行に英文で書き ( ) で閉じる。
- ⑥本文：キーワードの下を 1 行あけて、原則として片段 1 行 26 字×50 行の 2 段組 (2,600 字) で書く。

### 5. 原稿への記載事項および提出方法

原稿には題目や著者名等、論文本文の他に「研究会論文の作成見本」(付録 2)に従って下記の事項を記載してください。原稿中の文字の色はすべて黒色としてください。原稿は Word ファイルなどで電

子的に作成し、PDF 化したうえで電子投稿システムより投稿してください。

- ・各ページの右上欄外に論文番号を記載する。
- ・1 ページ目の左上欄外に書誌情報が記載されるが、学会にて記入するため著者での記載は不要。
- ・1 ページ目の右下欄外にコピーライトが記載されるが、学会にて記入するため著者での記載は不要。

## 6. 図面および表

- ・写真は、必要により網掛処理を行う（オンデマンド印刷版はモノクロ印刷のため、カラーの図表は印刷が不鮮明になる可能性があります）。
- ・図、表、写真などの表題は原則として日本語・英語併記とする。
- ・図、表、写真などの説明は原則として英語表記とする。

## 7. 参考文献

引用文献の表記は原則として英文としてください。ただし、英文表記のない文献を引用する場合は日本語でも差し支えありません。著者名は著者全員を、またタイトルは省略しないで記載してください。記載内容は、『著者名：「題目」、書名、巻、号、ページ（西暦発行年月）』です。下記を参照ください。

- (a) 日本語論文などの場合（英語・日本語の併記、(注)ただしタイトルなどに英文表記がない場合は日本語のみとする）

T. Denki, M. Hanai, and G. Misaki: "Future Technology for Power System Analysis", T. IEE Japan, Vol.130-B, No.1, pp130-136(1999-1)(in Japanese)

電気太郎・花井桃子・岬 五郎：「電力系統解析技術の将来」, 電学論 B, 130, 1, pp.130-136 (1999-1)

- (b) 国際会議などの論文集の場合

B. Yamada: "Experimental Studies of new micro-mechanical vibration systems", Proc. IEEE Conf. on Micro-mechanical Component, No21, pp.123 - 145, Paris, France(1999-4)

- (c) 単行本などの場合（ただし、日本語単行本の表記は上記(a)の(注)のような取扱いとする）

Y. Sankar: Management of Technological Change, p.10, John Wiley, New York(1991)

## 8. 別刷, その他

発表論文の別刷を希望される場合は、電子図書館にてご自身でご手配ください。価格は電子図書館販売価格に準じます。